

# 日刊 動労千葉

87. 12. 8

No. 2718

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## 冬季販売の目標達成に向け全組合員は 更に奮闘しよう！！

物品販売は全国からの注文品の出荷の最盛期をむかえています。いまこそ動労千葉の全組合員が総決起し目標を達成していこうではありませんか。職場の仲間、友人、知人、地域の労働組合に、物販のカタログをもちこみ、一品でも多く売りこんでいこうではありませんか。十二月物販決戦の勝利は、JR当局、鉄道労連とのたたかいに勝利していく決定的なたたかいです。最後まで頑張ろう！

なお一層の御協力を！！  
続々とよせられる激励の声

全国オルグは十一月末で終了しました。全国オルグ団の募集にはせ参じていただいた支部・組合員の皆様の決起に心からお礼申し上げます。千葉県内のオルグはまだ継続進行中ですので、各支部のなお一層のご奮闘をお願いいたします。こうした動労千葉の全組織をあげた物販運動への取り組みの熱意は全国のたたかう仲間にも伝わり、解雇者や全組合員への熱い激励のアピールや電話が協販部に集中しています。

「『吹き荒れる嵐の中で動労千葉は健在です』ということばがいつも喜びとともに頭の中に響いています。国鉄分割・民営化攻撃という時代を画すような労働者階級への大反動攻撃の嵐を真正面からまともにうけながらも、スックとそびえ立つ動労千葉の闘いに、私たちはただけ勇気づけられたでしょうか」（自治労労働者）

ますます高まる動労千葉への期待

全国の労働者の動労千葉への期待は、非常に大きいものです。労働運動の右翼的再編が進行し、全民労連の結成という事態の進行に、労働者の未来、労働運動の将来はどうなるのかという不安が全国いたるところで噴出しています。総評が解体され、鉄道労連・革マル松崎が先兵となる「連合」で、労働者の未来が本当に守れるのか。中曾根！竹下の進める戦争への道と対決できるのか。しか

も、全国の労働者の不安には根拠があるのです。何よりも、あの五年間にわたる国鉄労働運動解体攻撃をかたずをのんで見守っていた労働者は、動労・革マル松崎のはたした最大の裏切り者の役割を見てきているのです。混乱の中にある労働運動のなかにあって、われわれが、嵐のような攻撃に対して、敢然と闘いをつらぬき、今日闘いぬいているからこそ、全国の労働者は動労千葉に連帯と支援をよせているのです。戦闘的労働運動を実践する動労千葉を守り、三五名の解雇者を見殺しにするなど激励しているのです。

全国の闘う仲間の奮闘にゆえよう

全国各地でたたかう労働者・労組の活動家が動労千葉支援のために、「物販で支援しよう」と日夜奮闘しています。昨年冬季には意気消沈していた国労のある支部では、支部ぐるみで取り組み、各分会に下ろすところも出てきました。全通、教組、自治労、民間の労組でも組合ぐるみの取り組みが進んでいます。物販も回を重ねるたびに、全国オルグの力量も大きくなり、新たな支援組合をつくりだしています。

「どうしたら動労千葉を支援できるのか」こういつて歓迎してくれた組合がありました。われわれも全国の仲間、組織内と千葉県内の目標を百%実現してこたえていこうではありませんか。全支部あげてなお、一層の取り組みをかちとろう。

### 第十三回臨時大会の成功をかちとろう 12/19 (土)

一年間の闘いを総括し、さらに強固な闘いの体制をつくりあげよう。闘いの方針は鮮明である。

①全組織をあげて、不当解雇、清算事業団強制配属撤回・強制配転粉砕、原職奪還の闘いに総決起しよう。  
勝利のために、被解雇者を先頭に、闘う事業部連動に総決起しよう。

②全支部でストライキ体制を堅持し、「いすみ鉄道」出向問題を中心に、強制出向反対・強権的労務支配粉砕の闘いをより強化しよう。「六三・三ダイ改」阻止の闘いの体制をつくりあげよう。  
③JR当局の目にあまる運転保安無視を許すな。新たな決意で、反合運転保安闘争に総決起しよう。

④革マル鉄道労連解体、労働戦線の右翼「統一」に反対し、闘う労働運動の旗を守ろう。  
⑤三里塚労農連帯をより強化し、日帝の戦争政策をうち砕こう。  
第十三回臨時大会の成功をかちとろう。  
12月19日(土) 10時より  
千葉県教育会館2階